

2016.07.21

糸島市・泉川のハマボウ、ミサゴ



ミサゴ(鵟) ワシタカ科 L=メス64cm

←
ハマボウ見学者用駐車場(土日祝のみ)
糸島市役所シテイセールス課

はまぼう 夢の里

泉川自然博物館



ハマボウ(黄槿、浜朴)
アオイ科 落葉低木 塩生植物

可也山(かやさん) 365m









ハマボウ(黄槿、浜朴)
アオイ科 落葉低木 塩生植物



ハマボウ(黄槿、浜朴)
アオイ科 落葉低木 塩生植物



カササギ(鵲)
カラス科 L=45cm











ハマボウ見学者用駐車場





黄槿

分類: アオイ科 フヨウ属

学名: *Hibiscus hamabo*. ラテン語 ヒビスクス ハマボウ 1835年 シーボルトとシカリニ命名

分布: 神奈川県三浦半島～奄美、済州島(おもに太平洋沿岸)

福岡県指定
文化財
天然記念物

泉川の
ハマボウ
群落

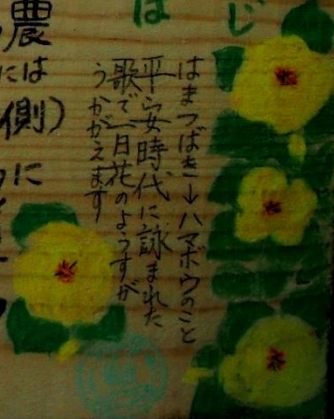
平成28年3月登録

系島ではおよそ百年前の大正初期

芥屋村大門波止松原の自生固体群保全へ
とりこまれた記録。また今津村四所神社前に
自生する群落は昭和6年(1931)県による調査から
一度天然記念物候補へ挙げられたという史料があります。
ここ雷山川の河口部(泉川)のハマボウ群落は地元
加布羅(かぶら)地区その伝承によると大正期頃から農
作物の漆え木に小枝が活用され、今もなお泉川には
樹齢80年をこえる大株が存在しています。(対岸側)
原種ハビスカスの系統分類研究にとりこまれ、系島に
おける花卉(かき)産業発展へ寄与された植物学者
立花吉茂博士による調査(昭和36年、1961)が行
なわれ右岸(対岸)植生のハマボウ樹林をアジア
地域をもっとも北限に位置するマングローブ帯を形成と
認められています。郷土の自然環境を大切にしよう!

君が代は
かぎりもあらじ
はまづばあは
ふたたびいろは
あらたまる

はまづばあはハマボウのこと
平安時代に詠まれた
歌で一月花のようすが
うかがえます





ミサゴ(鵟) ワシタカ科
L=メス64cm



ミサゴ(鵟) ワシタカ科
L=メス64cm



ミサゴ(鵟) ワシタカ科 L=メス64cm







カワラヒワ (河原鶉)
アトリ科 L=14.5cm



カワラヒワ (河原鶉)
アトリ科 L=14.5cm

